

平成 29 年度 経営発達支援事業実施状況報告書

1. 秩父商工会議所における経営発達支援計画の概要・目標

秩父地域では人口や事業所数が減少。アンケート調査では、「後継者がいない」「粗利益が減少した」という企業の割合が高い。また経営課題としては、「人材の採用・育成」「設備更新」「販路開拓」などに悩みを抱えている企業が多い。このような現状を打破するため、小規模事業者の事業計画策定を推進し、個々の企業の基礎体力の強化に取り組み、持続的に発展できる小規模事業者を増やす。また経営課題については計画の中で取り組みを具体化し解決を図っていく。さらに秩父地域にある豊富な地域資源を活かした付加価値の高い事業への転換や、事業承継、創業支援に力を入れていく。

- 目標**
- 創業と事業承継支援の強化により小規模事業者数の減少に歯止めをかける
 - 計画経営への取り組みを推進し小規模事業者の基礎体力の向上につなげる
 - 地域資源の活用など付加価値の高い事業への転換を推進する

2. 事業実施期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

3. 経営発達支援事業の内容

(1) 地域の経済動向調査に関すること

①景気動向調査の実施

平成 30 年 1 月に管内の小規模事業者を対象に調査を実施した。調査項目は、業種や従業員数、売上高・経常利益・所得の動向、売上高の増加（減少）の理由、経営の見通しなどを把握し、事業計画作成の支援に活用した。

②各種調査の活用の実施

地域の経済動向を把握するため、日商 LOBO (早期景気観測) 調査の実施および経営指導員等による巡回訪問時のヒアリングのほか、埼玉県経済動向調査や、「RESAS」地域経済分析システムなどの情報もあわせて収集した。小規模事業者の事業計画書策定支援において活用した。

③まちなか通行量調査の実施

秩父市内商店街を中心に定点観測ポイントを設置し、平成 29 年 5 月に実施した。調査結果をもとに創業希望者への店舗出店場所選定の際の情報提供のほか、マーケティング支援などで活用した。

(目標と実績)

内容	目 標	実 績
景気動向調査回答件数	440 件	361 件
まちなか通行量調査	1 回	1 回

(2) 経営状況の分析に関すること

①財務診断の実施

②SWOT 分析の実施

小規模事業者持続化補助金、革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金の申請支援および経営革新計画策定支援において財務診断と SWOT 分析を実施し、計画経営に取り組む事業所の増加につなげた。

(目標と実績)

内容	目 標	実 績
SWOT分析の実施件数	30件	53件

(3) 事業計画策定支援に関すること

①創業・第二創業支援（創業支援事業計画に基づく創業支援の実施）

平成28年9月～10月にかけて「ちちぶ創業塾」全5回を開催し44名の参加があった。個別のフォローアップ支援を行っているところである。

②経営革新計画策定支援

ものづくり補助金・小規模事業者持続化補助金等の支援先を中心に経営革新計画策定支援を行った。

(目標と実績)

内容	目 標	実 績
ちちぶ創業塾開催数	1回	1回
創業者数	10名	15名
事業承継（第二創業）セミナー	1回	0回
経営革新計画策定支援件数	16件	31件

(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・創業5年以内の事業者及び創業希望者を集めたフォローアップセミナーを実施した。
- ・経営革新承認事業所に対する勉強会・交流会については実施せず、巡回等により個別にフォローアップ支援を行った。
- ・ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金等の申請・採択企業に対し、補助金関係のフォローアップ支援を実施した。その後、経営革新計画など事業計画策定に結びつけた。

(目標と実績)

内 容	目 標	実 績
創業者に対する勉強会の実施	1回	1回
第二創業（事業承継）支援件数	3件	5件
経営革新承認事業所に対する勉強会・交流会	2回	0回
事業計画策定件数	16件	35件

(5) 需要動向調査に関すること

- ・小規模事業者の事業計画策定などに必要な情報の収集、整理、分析を行った。
- ・RESAS（地域経済分析システム）、第13次業種別審査辞典を活用し、小規模事業者への情報提供の他、事業計画策定時等の支援において活用した。

(目標と実績)

内 容	目 標	実 績
調査件数	40件	32件
巡回件数	500件	1,268件

情報提供件数	5件	32件
需要動向セミナー開催数	1回	0回

(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

①秩父地域内における販路開拓支援の実施

- ・平成29年10月14日(土)、15日(日)に秩父はんじょう博を開催した。
- ・創業者および経営革新承認企業を中心に、秩父商工会議所会報を使い需要開拓支援を実施した。
- ・「2代目経営者」「経営戦略」「補助金を活用した事業展開中小企業施策の活用」をテーマに異業種交流会をそれぞれ7月、11月、3月に開催した。

(目標と実績)

内 容	目 標	実 績
参加企業数(秩父はんじょう博)	100社	99社
来場者数(秩父はんじょう博)	85,000人	28,000人
会報の掲載事業所数	2社	7社
異業種交流会参加者数	275名	177名

※秩父はんじょう博は雨天のため、来場者数が著しく低い数値となった。

②秩父地域外における販路開拓支援の実施

- ・浅草まるごとにつぼんにて秩父地域でとれるカエデ糖(メープルシロップ)を使ったお菓子、工業製品(秩父銘仙を使用したオリジナル商品、秩父ちぢみ、藍染め製品など)、わらじカツ井、秩父産のお茶など秩父の特産品を紹介(チラシや試食・試飲)するとともに、販売を行った。秩父の地域ブランドとなる商品を多くの方に伝えることができた。
- ・秩父の地域ブランドを日本中に発信し、観光客をはじめ、地域外への販路拡大を図ることを目的に、「モノ・マガジン」10月2日号地方創生ブランドシリーズへの掲載および各メディア(配信数160社、掲載数67社)へのニュースリリースの配信を行った。掲載後、各事業者(小規模事業者)には、消費者(読者)からの問い合わせがあるなど、秩父の地域ブランドを日本中に発信することにより、地域外への販路拡大につながった。
- ・Feel NIPPONの出展を支援した。

(目標と実績)

内 容	目 標	実 績
まるごとにつぼんへの参加企業数	—	11社
うち商談成立企業数	—	0社
Feel NIPPONへの参加企業数	3社	38社
うち商談成立企業数	1社	2社

II. 地域の活性化に資する取り組み

①地域行政との懇談会の実施

- ・秩父市、横瀬町、商工会議所工業部会による行政との懇談会を実施し、施策に関する意見交換を行った。

②地域資源を活用した活性化への取り組み支援

- ・秩父アニメツーリズム実行委員会と共同したイベント開催やグッズ開発を行い、地域振興につなげた。

(目標と実績)

内 容	目 標	実 績
定期懇談会の開催回数	3回	3回
グッズ販売額	10,000,000円	12,111,934円

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・秩父地域および県北地域の連携機関会議に参加し、支援事例等の情報を共有するなど経営指導員のスキルアップを図った。
- ・金融機関主催の勉強会等に経営指導員が参加し、スキルアップを図った。
- ・ローカルベンチマークの活用支援や経営革新計画の策定支援において金融機関担当者と同行訪問し、支援の入り口から情報共有を強化による支援の深化を図った。

(目標と実績)

内 容	目 標	実 績
連携機関会議への参加	12回	24回
金融機関主催の勉強会への参加	3回	2回
金融機関担当者との同行訪問	20社	36社

②経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・中堅経営指導員が若手経営指導員を帯同し、経営革新計画等策定支援ノウハウを実践的に学んだ。
- ・経営指導員が記帳専任職員、補助員を帯同し、記帳専任職員、補助員が実践的に支援方法を学んだ。
- ・経営指導員は埼玉県および中小企業大学校が主催する研修への参加し、支援能力の向上を図った。
- ・情報共有を図る中小企業支援課会議を実施した。

(目標と実績)

内 容	目 標	実 績
中堅経営指導員が若手経営指導員を帯同し支援した企業数	2件	2件
経営指導員が記帳専任職員、補助員を帯同し支援した企業数	2件	2件
中小企業支援課会議の実施	12回	9回